

平成 25 年度 青少年健全育成事業

夢プラン21事業報告書



基里中学校 子ども夢実現隊

鳥栖市・夢プラン21実行委員会

は じ め に

鳥栖市では、次世代を担う子どもたちが地域の人々の支援を受けながら夢をかなえるプロセスを経験することによって、充実感や達成感を得るという形で、健やかな成長を支援するとともに、希薄化する世代間交流や地域交流につなげようと、平成17年度から青少年健全育成事業「夢プラン21」を実施しています。

9年目となる今年度は、小・中学生からあわせて118件の応募があり、実行委員会において、「とつとちゃんのパンを作って、鳥栖をPRしたい」という1つの夢を採択しました。夢の提案者を中心とした子どもたちは、パン屋さんや学校の先生をはじめとする地域の大人の支援を受けながら、夢実現に向けた取組を実施しました。

この冊子は、その活動報告をまとめたものです。青少年健全育成への取組や、世代間交流、地域交流の活性化に向けて活動する方々の参考にしていただき、「みんなで築く市民協働のまちづくり」へとつながっていく足掛かりになることを願います。

目 次

	ページ
1. 青少年健全育成事業「夢プラン21」平成25年度事業概要・・・	2
2. 夢プラン21実行委員会審査経過・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3. 採用された夢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
4. 取組概要（活動経過、子ども夢実現隊の感想）・・・・・・	4～6
5. 夢プラン21事業を終えて・・・・・・・・・・・・・・・・	7
6. 資料	
(ア) 夢プラン21実行委員会概念図・・・・・・・・・・	9
(イ) 夢プラン21実行委員会委員名簿・・・・・・	10
(ウ) 活動記録（写真）・・・・・・・・・・・・・・・・	11～12



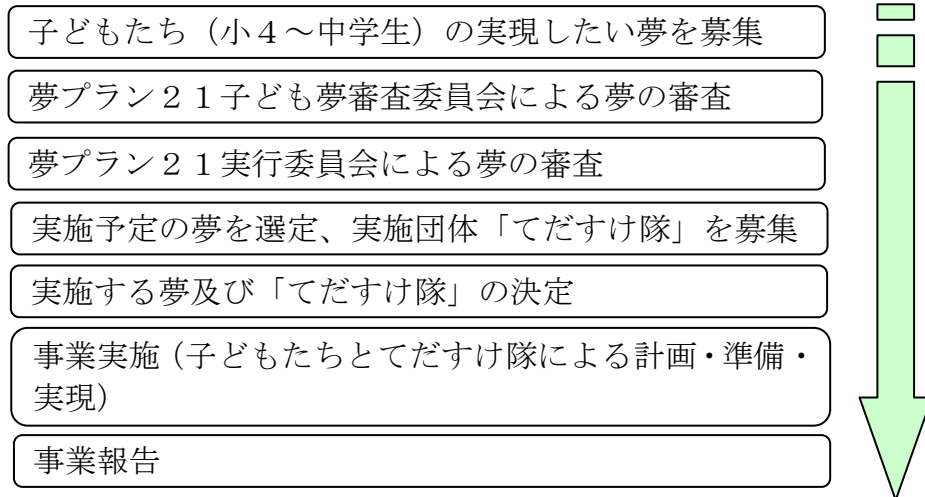
青少年健全育成事業「夢プラン21」平成25年度事業概要

■ 趣 旨

次世代を担う子どもたちが、地域の人々の支援を受けながら「夢」を実現するプロセスを通じて充実感や達成感を得ることによる、子どもたちの健やかな成長を支援するとともに、希薄化する世代間交流や地域交流の活性化につなげる。

子どもから応募があった夢を、子ども夢審査委員会・実行委員会で審査決定後、市民協働の視点から実施団体である「てだすけ隊」を公募し、市民活動団体等が主体となって、夢実現のための支援を行う。

■ 事業概要



- 主 催：夢プラン21 実行委員会・鳥栖市
*夢プラン21 実行委員会→夢の審査及び実施団体決定・支援
*子ども夢実現隊+てだすけ隊→事業実施
- 期 間：平成25年度中
- 事業費：50万円（総額）

■ 夢の選考基準

- 期 間：原則年度内に実現できるもの
- 場 所：鳥栖市内で実現できるもの
- 経 費：50万円を限度に実現できるもの
- 上記以外の選考基準：
- ・アドバイスを受けながら、子どもたちが自主的に考えて実現できるもの
 - ・子どもたちが集団で参加できるもの
 - ・独創的でこれまで夢プラン21で実現できていないもの
 - ・社会参加により社会の制度や常識を習得できるもの

■ 期待する効果

- 子どもたちが夢を実現する過程で、社会との関わりを深めることへの充実感や達成感を得ることによる、子どもたちの自主性、協調性の育成
- 市民活動団体の社会貢献活動参加の促進と市民活動団体等の育成支援
- 大人と子どもの世代間交流の実現、また、子どもと大人が協力しながら夢を実現することによる市民協働のまちづくりへの意識付け
- 地域や市民活動団体等の参加による地域活動の活性化と市民協働のまちづくりの実現

夢プラン2 1 実行委員会審査経過

期 日	会 議 等	概 要
平成25年 4月1日～ 4月22日	“夢”の募集	小学生から90件、中学生から28件、計118件の“夢”の応募を受付ける。
5月8日	子ども夢審査委員会	子どもの視点で ①やる気が感じられる【積極性】 ②いろんな人が関われる【協働性】 ③計画性がある【実現性】 の3点について点数を付け、夢をランク付け。
5月14日	第1回実行委員会	子ども夢審査委員会の審査結果と実行委員の審査資料をもとに、てだすけ隊を募集する夢の絞込み。
5月30日	第2回実行委員会	夢を応募した子どもへの聞き取り結果をもとに、てだすけ隊を募集する夢を決定。
6月6日～ 6月26日	てだすけ隊の募集	市公式ホームページ、まちづくり推進センターへのチラシ掲示等にて募集。
7月3日	採用決定通知書交付式	採用された1件の夢について、夢の応募者へ採用決定通知書を交付。
平成26年 2月27日	第3回実行委員会	事業報告

採用された夢

夢 概 要 (夢の応募者)	子ども夢実現隊	てだすけ隊	事業実施内容
「とっとちゃんのパン を作って、鳥栖をPR したい」 (基里中 福永瑛美)	基里中学校 2年1組 (16名)	ながの食品㈱ 基里中学校	鳥栖市のイメージキャラクター「とっとちゃん」をイメージしたオリジナルパンを作って、鳥栖をPRする。

夢プラン「とっとちゃんのパンを作って、鳥栖をPRしたい」取組概要

◇ 活動経過

活動日程・場所	活動内容
(平成25年) 7月中旬 基里中学校	とっとちゃんパンの考案 *どんなパンにするのか、具体的な形や具材等をイメージする。
7月22日 ながの食品	ながの食品㈱永野代表との打ち合わせ *作りたいパンのイメージを永野代表に伝え、アドバイスを受ける。
8月29日 基里中学校	基里中学校調理室にて、パンの具材を試作 *具材は①カスタードクリーム、②抹茶クリーム、③中華風あん、④ピザ風あんの4種類を試作する。
8月30日 ながの食品	ながの食品㈱工場にて、パンを試作 *具材ごとに4種類のパンを試作する。 *パン生地にはウレシ草や小松菜のペーストを練り込む。
9月15日 ながの食品 基里中学校	ながの食品㈱工場にて、パンを試作 *①抹茶クリーム、②ピザ風あんの2種類の具材に決定する。 *①のパン生地のみ、ウレシ草ペーストを練り込む。 基里中学校教室にて、パンの試食会を開催 *実行委員、関係団体等によるパンの試食。
9月22日 ながの食品 鳥栖駅前	ながの食品㈱工場にて、販売用パンを製造 バスの日イベントにて、パンを販売 *抹茶味、ピザ味の2種類のパンを販売する。(74個完売)
10月19日 ながの食品	ながの食品㈱工場にて、販売用パンの具材を調理
10月20日 ながの食品 新鳥栖駅前	ながの食品㈱工場にて、販売用パンを製造 ぐるりん観光物産展にて、パンを販売 *抹茶味、ピザ味の2種類のパンを販売する。(120個完売) *ピザ味の具材に鳥栖市の特産物「マコモタケ」を使用する。
(平成26年) 1月15日 鳥栖市内	市内のパン製造販売店へとっとちゃんパンの商品化を提案 *市内5店舗を訪問する。
1月22日 鳥栖市内	市内のパン製造販売店へとっとちゃんパンの商品化を提案 *市内4店舗を訪問する。

◇ 子ども夢実現隊の感想

今回の取組で学んだこと

- ◇ **仕事をするの大変さ**を学んだ。特に、食べ物を作る仕事は、髪の毛や爪などの衛生面をはじめ、様々なところに気をつけなければならない。
- ◇ 店頭で待っているだけではなかなかパンが売れず、宣伝（売り込み）に行った。「商売って難しい」と思った。
- ◇ **礼儀**を学んだ。分からないところは、黙っているのではなく、きちんと聞かなければいけない。
- ◇ パン工場の方には、**社会のマナーやルール**、大人への接し方など、パン作り以外にもたくさんのことを教えていただいた。
- ◇ みんなで**協力することの大切さ**を学んだ。一つのことを協力して成し遂げた達成感があった。

反省点

- ◇ パン工場での作業は、はじめ緊張して、積極的に動くことができなかった。また、きちんと分担できていなかったため、作業をスムーズに行えなかった。
- ◇ パンの形を、もう少し工夫すればよかった。試作では、焼き上がった時に、パンの中身が飛び出てしまい、なかなか思うようにいかなかった。
- ◇ 販売では、大きな声で元気に接客することがなかなかできなかった。また、おつりの計算をスムーズにできず、もたもたしてしまった。

「夢プラン21」への意見

- ◇ 自分たちでやりたいことを考えて、それを実現することができ、充実した経験ができた。**この経験を今後につなげたい。**
- ◇ たくさんの方々に協力してもらったおかげで、夢を実現することができた。**感謝の気持ちでいっぱいです。**
- ◇ 「夢プラン21」をこれからも続けてほしい。
- ◇ 一人だけが行うのではなく、**みんなが一体となって**取組むことができるのがよいと思う。また、鳥栖市のPRにもつながっていると思う。

全体を振り返っての感想

- ◇ 自分の提案が採用されたときは、びっくりして、ちゃんとできるかどうか**不安だった**けど、みんなで協力して夢をかなえることができた。
- ◇ 大変だったけど、楽しく取組むことができたと思う。
- ◇ **今後、こんな機会はないと思う**。すごくいい経験をすることができた。協力してくださったたくさんの方々に感謝します。ありがとうございました。
- ◇ わからないことばかりで、どうすればよいかは**はじめ戸惑った**けど、パン屋さんが丁寧に教えてくださった。
- ◇ パン生地で「とっとちゃん」の形を作るのは**難しかった**けど、学校の先生や友達と話し合いながら、最後にはかわいい形のパンを作ることができた。
- ◇ 楽しいことばかりではなく、きついこともあった。特に、パン工場での作業は朝が早く、**きつかったけど、いい思い出になった**。
- ◇ ぜひ他の人たちにも、夢プランを経験してもらいたい。
- ◇ みんなで協力して頑張って作ったパンが20分くらいで完売し、うれしかった。買ってくださった方の「おいしかった」という声を聞いて、**やってよかったと思った**。
- ◇ こんな貴重な経験、**またやれる機会があったらぜひやりたい**。
- ◇ 放課後、教室で作業をしていると、周りの友達が自然と手伝ってくれた。**協力し合うことの大切さを実感した**。



夢プラン21事業を終えて

今年度も、市内の小中学生から多くの素晴らしい夢が寄せられました。その中でも、“とっとちゃんの形をしたパン作り”は、子どもらしいユニークな発想でインパクトがあるとともに、実現に向けた計画性もあり、子どもと大人いずれの審査でも評価の高かったものです。今回はこの夢を採用いたしました。

採用された夢の提案者をはじめ、基里中学校の子どもたちは、パン屋さんなど大人のアドバイスをもとに、2種類のパンを考案しました。1つは、生産者の方のご厚意をいただき、市の特産品「マコモタケ」を使った鳥栖らしいパンに仕上がりました。また、材料の購入にあたっては、家庭科の先生よりアドバイスを受けながら、子どもたち自身で食材を選びました。

試作、試食会を経て、市内のイベントで合計194個のパンを製造し、販売しました。なお、パンの売上金については、東日本大震災被災地の義援金として寄付させていただきました。

イベント終了後は、子どもたちが市内のパン屋さんを訪問し、「とっとちゃんパン」の商品化を提案しました。

「とっとちゃんのパンがあつたらいいな——」。子どもたちが膨らませたイメージが、たくさんの大人の力を借りて、一つひとつ形になりました。

試行錯誤して一生懸命作ったパンが、たくさんの笑顔につながった喜びは、子どもたちの心を充実感や達成感で満たし、その健やかな成長の一助となることと思います。

また、今後、子どもたちの取組が地域に浸透し、「とっとちゃんパン」と再会できる日を心待ちにしています。

今年度で、夢プラン21事業も9年目を迎えることができました。本事業は、「市民協働のまちづくり」の一翼を担う方向へと変貌を遂げ続けています。

地域の大人の支援を受けながら夢を実現していくプロセスは、子どもたちだけで完成した夢よりも、子どもたちの心に深く思い出として刻まれることでしょう。また、達成感に満たされた子どもたちの笑顔や「ありがとう」の感謝の言葉は、関わった大人たちの胸にも深く刻まれることと思います。

こうした世代間交流は、人と人とのつながりが薄れつつある地域に活気をもたらし、自然と“おかげさま、おたがいさま”の気持ちが溢れる地域へとつながり、様々な地域課題の解決を達成していくまちへと発展していくのではないのでしょうか。

最後になりましたが、この事業にご協力いただきました多くの企業・団体・ボランティアの方々・市民の皆様に対し、この場を借りましてお礼申し上げます。

夢プラン21実行委員会

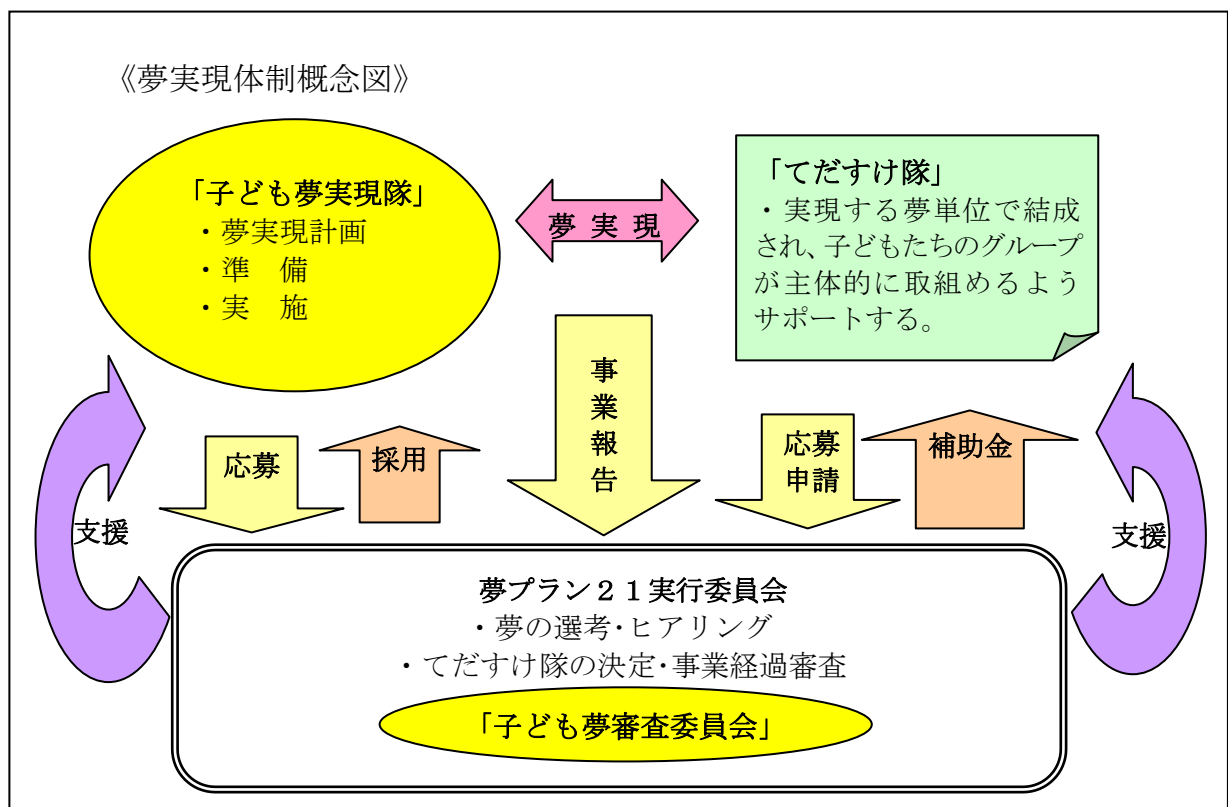
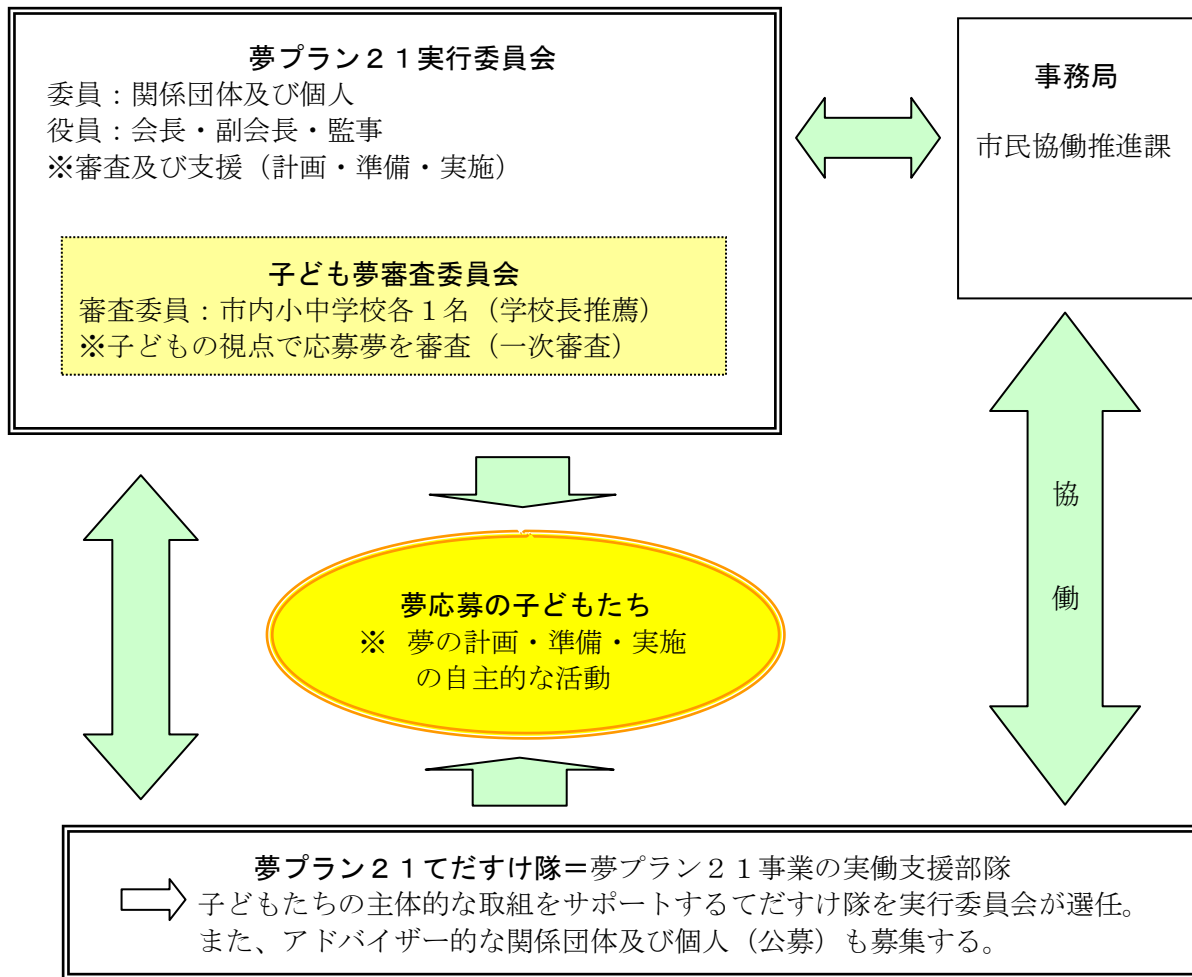
会 長 中 村 圭 一

資 料

- (ア) 夢プラン21 実行委員会概念図
- (イ) 夢プラン21 実行委員会委員名簿
- (ウ) 活動記録 (写真)



夢プラン21実行委員会概念図



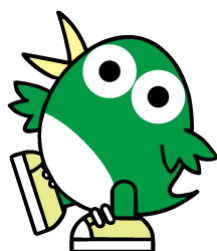
夢プラン21実行委員会委員名簿（25年度体制）

役 員	所 属 団 体 及 び 役 職	氏 名
会 長	鳥栖市子どもクラブ連絡協議会 会長	中 村 圭 一
副会長	鳥栖市区長連合会 会長	増 田 悟
	鳥栖青年会議所 理事長	野 下 圭 史 郎
	鳥栖地区小中学校PTA連合会 副会長	権 藤 し の ぶ
	とす市民活動センター センター長	池 上 明 子
監 事	鳥栖市校長会（田代小学校長）	庄 嶋 巖
監 事	子育て支援総合コーディネーター	吉 田 眞 由 美

活動記録







平成26年3月